

2015年JOCジュニアカップ大会 追加種目提案

2014年6月21日 第86回理事会
選手強化委員会

JOC大会は国際大会種目を中心として種目設定が行われています。

一昨年以來ジュニアの国際大会（「世界ジュニア武術選手権大会」）では、A組で国際第三套路の導入が始まっています。また、今年三月に実施された「第5回世界ジュニア武術選手権大会（トルコ・アンタリア）」からは、B組においても太極拳種目が総合太極拳と42式太極剣に、種目変更が行われています。国際大会の種目設定は固定的なものではありませんが、種目に対する対応が遅れることによって、実力のある選手を国際大会に派遣することが難しくなることも事実です。

日本代表選手の選考もこの種目で行われているため、2015年のJOCジュニアオリンピックカップ大会から国際第三套路を導入することをご提案いたします。

<改 定 案>

A組 現行種目に加え、国際第三套路徒手種目（太極拳・長剣・南拳）を実施

○国際第三套路の器械種目導入は今後の状況による。

○出場については、現行A套路か第三套路かを選択する。

○安全面などの関係から、第三套路については出場にある程度の条件付けと規制を行う。

B組 現行種目に加え、総合太極拳と42式太極剣を実施

○太極拳の出場については24式太極拳と32式太極剣または総合太極拳と42式太極剣の組み合わせのどちらかを選択する。徒手のみの出場も可。

C組 変更は無し

<国際代表の選抜について>

* A組の国際代表については、第三套路に出場した者から選抜する。この場合選考会においては器械套路も必須とする。

* B組太極拳種目の国際代表については、総合太極拳と42式太極剣に出場したものの中から選抜する。

以上